

○西東京市文化財保存・活用計画 令和3年実績・令和4年予定に対する文化財保護審議会からの意見

施策の柱 施策の方向	
柱1 文化財の調査・研究	
1-1	文化財の計画的で総合的な調査の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・既知の石造物や建造物をリスト化し現状を把握する必要がある。 ・講などの伝統的な組織や年中行事、方言等の調査を早急に進める必要がある。 ・文書について、散逸していないかなど一定の期間で現状確認が必要。 ・伝統技術保持者の廃業は残念。存在を知り得た段階で、短いものでもよいので、動画などの記録を取り保存することが大切。
1-2	
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での展示は評価できる。今後も継続を望む。 ・中央図書館の閉館中も芝久保図書館で行政資料が閲覧・活用できたことは良かった。感謝する。 ・中央図書館2階の展示コーナーの有効利用を今後も継続してほしい。 ・郷土資料室の地域資料収集の拠点としての施設整備が必要。 ・下野谷遺跡のデジタルデータ化は評価できる。図書館と連携して推進を。 ・デジタル化は大いに進めてほしい。 ・西東京市市制「30周年」をめぐりに市史編さん委員会を設置し『西東京市史』を刊行すべき。 ・市民向け概説書の作成に大いに期待したい。
柱2 文化財の保存管理の推進	
2-1	文化財の保存管理対策の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・登録文化財制度の設置は急務。進み方が遅すぎる。 ・文化財のデジタル化は継続して取り組んでほしい。
2-2	文化財の担い手の育成・支援
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財所有者の後継問題への対応が急務。相続が不可能になった際の行政的な対応を検討しておくべき。 ・日本の文化体験フェスへの取り組みは大きな前進と評価。 参加人数など詳細を確認してほしい。 作動30名、書道10名、生け花10名、日舞10名、お箏9名、組みひも5名、浴衣の帯結び4名 計78名 ・その他にも、市の文化祭に武蔵野大学の書道、造形の学生が展示に参加している。 ・コロナへの対策が動画配信などへ舵を切るきっかけになったことは成果でもある。 ・動画公開と同時に映像の保管にも重点を置くべきである。 ・市民文化祭への参加率を高めることが伝統文化継承の担い手を増やすことにつながる。 ・親子での参加など参加しやすい環境の検討を続けられたい。
2-3	文化財保護制度の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会に関しては、審議会での議論が活かされていないことが問題。 ・文化財保護審議会はオンラインの併用を継続し、定期的な開催を望む。 ・市指定文化財制度の継続的な運用のため、条例の改訂と同時にそれを理解し、職務に当たれる専門職の設置が望まれる。 ・登録文化財制度を導入し、1年に何件か登録文化財を文化財保護審議会で審議するシステムをつくるべき。

施策の柱 施策の方向	
柱3文化財の普及啓発及び活用の推進	
3-1	文化財情報の公開・発信 <ul style="list-style-type: none"> 文化財マップは小学校3年生の社会科学習での活用を。 文化財マップは、より市民の興味を喚起させるものに改良する必要がある。 文化財マップ、文化財関連のパンフレットなどを小中学校の教員に周知し、学ぶ場を作ることが重要。 SNSなどを用いた情報発信や動画での公開など、新たな手段、コンテンツの活用が引き続き重要。 博物館の設置などハード面での強化も望む。 案内板が必要な文化財やその内容を検討すべき。 例) 西東京市と国史跡「玉川上水・小金井（サクラ）」 西東京市の玉川上水と小金井（サクラ）への取組み 〈簡易なものでもよい〉
3-2	文化財を活用した学校教育等の充実 <ul style="list-style-type: none"> GIGAスクールなど学校現場におけるICTの環境整備に合わせた、新しい出前授業の方法を模索する必要がある。 中学校での文化財を活用した学習は重要。 社会科だけでなく総合学習的な学習への活用を考えたい。 小学校での特色ある学習はぜひ継続してほしい。 縄文献立はユニークで評価できるが、その意図が児童に伝わるような工夫が必要。 職場体験の中に文化財保護に関わる仕事の紹介などを盛り込めないか。 多様な学習に対応するためにも、専門職としての学芸員の配置が必要。
3-3	生涯学習と連携した文化財に親しむ機会づくり <ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマに関連させた渋沢栄一関連の特別展は、西東京市との関連など、よい試みであったと評価できる。 生涯学習の充実にあたっては、家族で楽しめるような催しがあるとよい。 コロナ禍の中でも、文化財を活用した子どもの体験の機会が戻ってきていることは評価できる。 児童館や学童クラブでの活用もよい試みである。 学生ボランティアの活用も評価できる。 地域にある大学の学生と小学生がつながるような橋渡しを市が行うことを検討するとよい。 子どものための地域を知る講座は今年度は実施の方向で進んでいる。
3-4	市民の参加による文化財普及啓発の推進 <ul style="list-style-type: none"> 公民館・図書館と連携した意識啓発事業は、コロナ禍でも継続してほしい。 文化財の焦点化にこだわらず、市民一人一人が待つ能力を様々に活かしつつ文化財についても市民に広めていくような活動になることが望ましい。 ムラびとや市民説明員に大学生などの参加が増えれば研究のすそ野を広げることにもなる。
3-5	文化財を活かした地域の魅力づくり <ul style="list-style-type: none"> 農とふれあいにより地域の歴史・文化を理解する活動として、小学生対象のイベントを行うことは貴重であり、継続を望む。 マスコットキャラの活用に関しては、しーたとのーやの認知度を高めるため、街中で目に付くようにすることが大切。いこいーなに負けるな。

施策の柱	
施策の方向	
柱4文化財の保護環境の充実	
4-1	都市計画と連携した文化財保存・活用の環境づくり
	<ul style="list-style-type: none"> ・東大農場を分断する道路の立会調査の結果を公表してほしい <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財の発見無し ・下野谷遺跡以外の国指定の記念物である玉川上水、小金井（サクラ）についても市民や本市を訪れた人にアピールをすべき。 案内板の設置や国との連携事業などの取組内容の掲示などをすべきである。
4-2	文化財の保護・学習拠点の整備・充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料室の紫外線対策、温度・湿度管理など保存環境の未整理が問題。そのためにも博物館の設置を。 ・文書のある図書館と民具のある郷土資料室の協働ができていないことが問題。 ・今年度の武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館での展示のように、貸し出しなど、近隣自治体との連携が取れるとよい。 ・教育普及面への郷土資料室の活用の充実のため、照明や機器の充実など、展示の改善を腰を据えて行うべき。 ・郷土資料室への学芸員の配置が必要。 ・図書館のHPが、地域の講演の記録を公表するなど、研究成果の発信の拠点となるとよい。 ・収蔵施設の設置検討をぜひ進めてほしい。
4-3	新たな保存・活用拠点の設置検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス施設は史跡整備と時期を同じくして実現すべき。 ・地域博物館の設置は収蔵施設、発信の拠点など必要性が高く急務である。 ・地域博物館は考古学に限らず、民俗、自然なども含む総合博物館が望ましい。 ・多摩六都博物館との連携が重要。 ・博物館建設は長期的に検討すべきであり、建設に向けた検討委員会を西東京市制施行「30周年」までに実現できないか。 ・学芸員の採用などマンパワーの拡充も合わせて進めてほしい。
4-4	推進体制の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者との連携も重要である。企業博物館なども参考になるだろう。 ・下野谷遺跡に関連して早稲田大学との連携は引き続き重要。 ・地元の武蔵野大学の学生の力を借りるようなものもあるとよい。 ・専門知を活用する取組を継続して続けてほしい。
4-5	関係する機関・団体との連携強化
	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的・歴史的に共通の土壌を持っている近隣自治体と連携した展示などができるとよい。

施策の柱	
施策の方向	
柱5 下野谷遺跡の保存・活用	
5-1	<p>史跡の継続的な調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究の拠点となる施設が必要。 ・継続的に調査・研究に専任できる職員の配置が必要。
5-2	<p>史跡の継続的な保存・管理</p>
5-3	<p>史跡整備と展示施設の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡に近接したガイダンス施設の設置は必須。至急進めるべきである。 ・地域博物館の設置検討を進める必要がある。
5-4	<p>史跡の活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の公開・発信の拠点としても、史跡に隣接したガイダンス施設が必要。 ・社会科の副読本に下野谷遺跡の内容を盛り込んだことは評価できる。良いものにブラッシュアップしてほしい。 ・教員についても下野谷遺跡についての研修を行ってほしい。

施策の柱		審議会の意見概要		自己評価	令和3年度の取り組みへの意見	令和3年度取組実績	令和4年度取組予定	所管課
柱4文化財の保護環境の充実								
4-1	都市計画と連携した文化財保存・活用の環境づくり							
4-1-1	<p>自然的・歴史的な景観の保全と魅力ある景観形成</p> <p>・地域資源の特性に応じて、それぞれの地域の自然的・歴史的景観を保全するとともに、魅力ある景観形成を推進します。</p>	<p>谷戸せせらぎ公園、刷殿神社や四軒寺（東禅寺、寶泉院、如意輪寺、寶樹院）が位置する地域は寺町を形成しているため、その特性は興味深い。</p> <p>市内でも最大規模の緑地空間として、東大生態調和農学機構の環境の確保は重要である。</p> <p>東大農場を分断する新しい都道は、「横山道」の位置にあり、田無第二中学校北側道路で古銭などが出土したことを考えると中世の遺構が残されていた可能性があった。埋蔵文化財の周知範囲にはなっていないが、確認調査を行うべきであった。</p>	2 2 4	<p>【社会教育課】東大農場を分断する道路の建設にあたり埋蔵文化財の立会い調査を行った。</p> <p>【みどり公園課】みどりの散策マップを配布し、みどりの保全についての意識啓発に務めた。</p> <p>【都市計画課】「東大生態調和農学機構周辺地区地区計画」では、「西東京市都市計画マスタープラン」における『みどりとのかみどり健康づくりの中心地となるようなみどりの拠点の形成』を目指すこととしており、令和3年9月に都市計画変更を行った。</p>	地域ごとに以下にご記入下さい。	地域ごとに以下にご記入下さい。	<p>産業振興課・みどり公園課・環境保全課・都市計画課・道路課・社会教育課</p>	
	<p>(保谷駅北部地域)</p> <p>・点在する屋敷林、保谷北町緑地保全地域や下保谷四丁目特別緑地保全地区、下保谷森林公園等の地域資源を活用し、みどり豊かな美しい都市景観の保全・創出を目指します。また、福泉寺や天神社をはじめとする地域の歴史的資源を活かしたまちづくりを進めます。</p>	<p>点在する屋敷林や、福泉寺、天神社をはじめとする下保谷の地区では、具体的な歴史的資源を活かしたまちづくりが求められる。</p> <p>保谷駅北側は、土地所有者の協力のもと、屋敷林等が残されている。今後、所有者が変わるときに維持できなくなった場合、公有化することが望ましい。</p>	1 3	<p>【社会教育課】「保谷のアイ」をオンライン発信した。また、みどり公園課と連携し屋敷林の周知を図った。</p> <p>【みどり公園課】下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用計画を策定し、今後の保全活用に向けた基本的な考え方を取りまとめた。</p> <p>また、イベントの開催などを通じ、武蔵野地域に見られる典型的な散居型屋敷林の面影を現代に伝えていく当該施設の周知を図り、みどりの保全についての意識啓発等を行った。</p> <p>【みどり公園課】「みどりの散策マップ」を配布するとともに、「みどりの散策路めぐり」を実施し、みどりの保全についての意識啓発に努めた。</p>	<p>【産業振興課】みどり公園課と連携して、下保谷四丁目特別緑地保全地区（旧高橋家屋敷林）を活用した観桜会、紅葉鑑賞会での一店逸品認定店の普及啓発事業を行う。</p> <p>【みどり公園課】令和3年度に策定した保全活用計画に基づき、一般開放の回数を増やしたり、四季折々のイベントを実施することにより、施設の周知に努めるとともに、みどりの保全についての意識啓発を行う。</p> <p>【みどり公園課】散策マップを活用し、緑の保全についての意識啓発等を図る。</p>	<p>産業振興課・みどり公園課・環境保全課・都市計画課・道路建設課・道路管理課・社会教育課</p>		
	<p>(田無駅周辺地域)</p> <p>・市を代表する商業地であるとともに、青梅街道沿いの田無神社や総持寺等をはじめとする文化財が多くみられる地域です。</p> <p>・田無駅付近の風格ある美しい都市景観の形成を目指し、田無神社と総持寺を中心とする地域の歴史的資源を活かし、市内のみならず、市外から訪れる人たちにとって、魅力的な、風格と活気あるまちづくりを進めます。</p>	<p>青梅街道沿いの田無神社や総持寺、旧下田家名主役宅の存在する地区は、武蔵野、多摩といった周辺地域の核であった田無宿の様子を伝えていて、歴史文化にとって重要な地区である。</p> <p>青梅街道は、近年の開発によって借場の景観から高層マンションが立ち並び街並みに様変わりしてしまった。僅かに残されている下田家住宅等の建物等も将来にわたって残すためには、公有化が望ましい。</p>	3 3 2	<p>【産業振興課】観光振興事業「北多摩TOKYOアニメスタンプラリー」のスタンプ設置ポイントとして、田無神社にオリジナルキャラクターの等身パネル及び人気声優によるオリジナルボイスを昨年に続いて設置、また、オリジナルキャラクターが印字された御朱印紙を販売し、文化財の普及啓発を行った。</p> <p>【みどり公園課】みどりの散策マップを配布し、みどりの保全についての意識啓発に務めた。</p>	<p>【社会教育課】引き続き、市民団体や他課と連携し屋敷林を中心とした歴史文化の周知に努める</p> <p>【産業振興課】「北多摩TOKYOアニメスタンプラリー」を実施予定。モバイル等による電子スタンプラリーを予定しており、インターネット等を活用した地域のPRも検討。引き続き取組み連携を検討する。</p> <p>【みどり公園課】散策マップを活用し、市民団体との協働で散策路めぐりを実施し、緑の保全についての意識啓発等を図る。</p>	<p>産業振興課・みどり公園課・環境保全課・都市計画課・道路課・社会教育課</p>		

※評価欄 4~1
4...十分達成している
3...概ね達成している
2...今後の努力が必要
1...達成できていない

		<p>(田無駅南部地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の北部を東西に石神井川が流れているほか、南部には玉川上水や千川上水もあり、周辺の農地・屋敷林とともにみどり水の資源に恵まれた地域です。 ・江戸時代に築造され国の史跡である玉川上水周辺は東京都景観条例に基づく玉川上水景観基本軸として指定され、玉川上水沿いの小金井サクラ並木等自然環境の保全と活用、景観と調和した街並みを形成していく地域となっています。 ・今後の土地利用動向を見すえながら、地域特性に沿ったきめ細かな景観誘導の必要性について検討します。 	<p>玉川上水と小金井サクラの保護を推進して、景観保全を行うような地域計画が求められる。</p> <p>屋敷林・主屋・土蔵など武蔵野の農村の面影が残されている景観を保護できれば良いと思う。</p>	1 2		<p>【社会教育課】玉川上水・小金井（サクラ）の保存・管理を国、都と連携して行った。</p> <p>【産業振興課】取り組み実績なし</p> <p>【みどり公園課】みどりの散策マップを配布し、みどりの保全についての意識啓発に務めた。</p> <p>【環境保全課】なし</p> <p>【都市計画課】なし</p> <p>【道路課】なし</p>	<p>【社会教育課】引き続き国指定文化財の保存・管理に努めるとともに、その周知を新田開発と絡め検討する。</p> <p>【産業振興課】引き続き取り組み連携を検討する。</p> <p>【みどり公園課】みどりの散策マップを活用し、緑の保全についての意識啓発を図る。</p>	<p>産業振興課・みどり公園課・環境保全課・都市計画課・道路課・社会教育課</p>
		<p>(東伏見・西武柳沢駅南部地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石神井川沿いは、東京都が進める公園事業、河川事業と連携して、史跡下野谷遺跡や東伏見稲荷神社と一体となったみどりと水に親しめる空間づくりを進めていきます。 ・東伏見稲荷緑地保全地区内には、東伏見稲荷神社があり、良好な景観を形成し、多くの市民に親しまれています。 ・石神井川沿いの散歩道等、親水機能のある快適な空間とし、親しみやすい水辺空間として整備を進めるとともに、特色ある様々なみどりを保全・活用し、美しい景観とみどりと水と歴史のネットワークの形成を目指します。 	<p>下野谷遺跡と石神井川沿いの東伏見稲荷神社の一角は良好な歴史的文化的な環境が保たれているので、それらを保全するような地域計画が望まれる。</p> <p>下野谷遺跡に連続する「東伏見公園」は、遊戯施設を造りすぎである。緑地が多く残されるだけでなく、公園から下野谷遺跡がみえるような工夫をすべきである。下野谷遺跡整備の懇談会でも議論したような石神井川沿いの緑地帯を遺跡に関連付けた東伏見公園をつくるべきである。緑を縄文時代にあった樹木を植えるとか。都建設局とも連携が必要</p>	3 3 2		<p>【社会教育課】下野谷遺跡の整備を中心に、市民説明会などを実施しながら事業を行った。</p> <p>【産業振興課】観光振興事業「北多摩TOKYOアニメスタンプラリー」のスタンブ設置ポイントとして、東伏見稲荷神社のオリジナルキャラクターを作成、キャラクターが印字された御朱印紙も販売し、文化財の普及啓発を行った。</p> <p>【みどり公園課】みどりの散策マップを配布し、みどりの保全についての意識啓発に務めた。</p>	<p>【社会教育課】下野谷遺跡の保存・活用を軸に、遺跡を活用した街づくりをめざす。</p> <p>【産業振興課】「北多摩TOKYOアニメスタンプラリー」を実施予定。モバイル等による電子スタンプラリーを予定しており、インターネット等を活用した地域のPRも検討。引き続き取り組み連携を検討する。</p> <p>【みどり公園課】みどりの散策マップを活用し、緑の保全についての意識啓発を図る。</p>	<p>産業振興課・みどり公園課・都市計画課・道路課・社会教育課</p>